

家計調査報告（平成11年7～9月期平均速報）

平成11年7～9月期平均の特徴

- <全世帯> 消費支出は、1世帯当たり319,483円
前年同期に比べ名目(-)0.4%の減少、実質(-)0.4%の減少
- <勤労者世帯> 消費支出は、実質(-)0.7%の減少
実収入は、実質(-)2.7%の減少
可処分所得は、実質(-)3.0%の減少

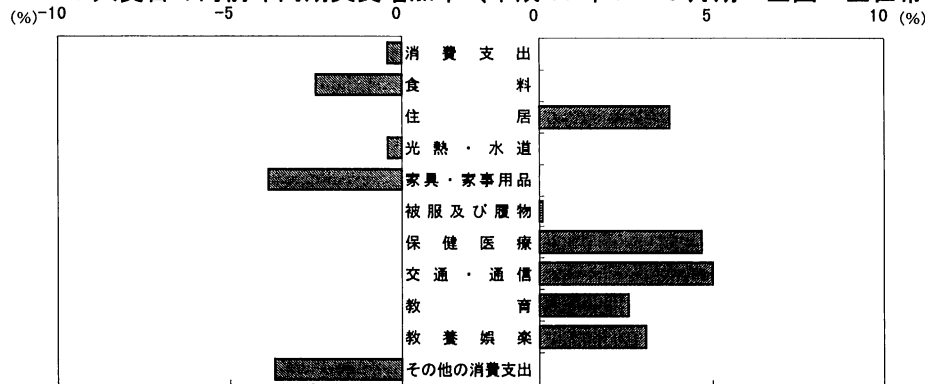
1 全世帯の家計

全世帯の消費支出は、平成9年10～12月期以降6期連続の実質減少となった後、11年4～6月期は実質増加となり、7～9月期は実質減少となった。

消費支出の対前年同期実質増加率（全国）

	平成8年				9年				10年				11年		
	1～5月期	4～6	7～9	10～12	1～5	4～6	7～9	10～12	1～5	4～6	7～9	10～12	1～5	4～6	7～9
全世帯	2.6	0.5	-3.0	-0.2	2.0	-2.5	1.9	-2.3	-4.8	-1.3	-2.5	-0.2	-1.4	0.5	-0.4
勤労者世帯	3.0	1.6	-2.5	0.5	3.7	-2.7	2.0	-2.5	-5.4	0.3	-2.6	0.4	-1.8	-0.8	-0.7

10大費目の対前年同期実質増加率（平成11年7～9月期－全国・全世帯）



2 勤労者世帯の家計

勤労者世帯の実収入は、平成9年10～12月期以降5期連続して実質減少となった後、11年1～3月期は実質増加、4～6月期は前年同期と同水準となり、7～9月期は実質減少となった。

消費支出は、平成10年7～9月期は実質減少、10～12月期は実質増加となり、11年1～3月期以降3期連続の実質減少となった。

収入及び支出の内訳（平成11年7～9月期－全国・勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増加率(%)		実質増加 率への寄 与度(%)	摘 要
		名目	実質		
実収入	538,722	-2.7	-2.7	-2.7	
世帯主の定期収入	382,829	-0.1	-0.1	-0.09	3期ぶりの実質減少
配偶者の収入	54,006	3.2	3.2	0.30	8期連続の実質減少
うち 女の収入	53,962	3.9	3.9	0.36	
他の世帯員収入	12,212	-22.5	-22.5	-0.64	
非消費支出	86,878	-1.2	-	-	
可処分所得	451,844	-3.0	-3.0	-	
消費支出	344,768	-0.7	-0.7	-0.7	
食料	78,612	-2.1	-2.8	-0.64	<減少>酒類など 4期連続の実質減少
住居	22,988	1.5	1.8	0.12	<増加>設備修繕・維持 3期連続の実質増加
光熱・水道	18,570	-2.7	-0.8	-0.05	<減少>上下水道料など
家具・家事用品	12,422	-4.9	-3.7	-0.14	<減少>寝具類など
被服及び履物	16,653	2.3	2.5	0.12	<増加>和服など
保健医療	11,110	4.8	6.2	0.19	<増加>保健医療用品・器具など 4期連続の実質増加
交通・通信	43,521	3.9	3.7	0.44	<増加>通信など 3期ぶりの実質増加
教育	16,070	6.5	5.1	0.22	<増加>補習教育など
教養娯楽	37,009	0.6	1.3	0.13	<増加>教養娯楽用耐久財など 6期連続の実質増加
その他の消費支出	87,812	-3.8	-	-	<減少>仕送り金など 3期連続の減少
平均消費性向(%)	76.3	(前年同期)	(名目差)	1.8	

資料：総務庁統計局